

製品安全データシート

整理番号： 2000054075

作成： 2001/11/07

改訂： 2010/12/01

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1スタートキット B剤

1. 製品及び会社情報

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1スタートキット B剤

会社名： コニカミノルタエムジー株式会社
住所： 〒191-8511 東京都日野市さくら町1番地
担当部門： 品質保証センター
(TEL：042-589-8421, FAX：042-589-8066)

作成部門： コニカミノルタビジネスエキスパート株式会社 環境部
(TEL：042-589-8167, FAX：042-589-8071)

緊急連絡先： 急性中毒の恐れがある場合の緊急連絡先
(財)日本中毒情報センター 中毒110番
(大阪)072-727-2499(情報料無料) 365日 24時間対応
(つくば)029-852-9999(情報料無料) 365日 9時～21時対応

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
引火性液体	区分外
急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼損傷性/刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(慢性)	区分2

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
臓器(血液)の障害
臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き： 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
暴露した場合、医師に連絡すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	官報公示整理番号		安衛法 通知対象	PRTR法
			化審法	安衛法		
酢酸	60-70	64-19-7	2-0688	化審既存	安衛法通 知物質	非該当
フェニドン	1-25	92-43-3	9-1855	化審既存	非該当	非該当
水	1-25	7732-18-5	対象外	対象外	非該当	非該当

製品安全データシート

整理番号： 2000054075

作成： 2001/11/07

改訂： 2010/12/01

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1 スタートキット B剤

4. 応急措置

吸入した場合：	直ちに医師に連絡すること。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：	直ちに医師に連絡すること。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
目に入った場合：	直ちに医師に連絡すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：	直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。 直ちに水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませる。医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	製品自身は不燃性。周囲の物質に応じて選択する。
使ってはならない消火剤：	情報なし。
特有の消火方法：	消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。周辺火災の消火に務め、危険でなければ容器を安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	保護具を着用する（8章参照）。
環境に対する注意事項： 封じ込め及び浄化の方法、機材：	立ち入り前に換気を行う。 環境への放出を避けること。 漏出物を回収すること。 砂又は他の不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	取り扱い後はよく手を洗うこと。
局所排気・全体換気：	取り扱いは十分な換気の下で行う。
注意事項：	情報なし。
安全取扱い注意事項：	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保管	
適切な保管条件：	施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
安全な容器包装材料：	情報なし。

製品安全データシート

整理番号：2000054075

作成：2001/11/07

改訂：2010/12/01

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1スタートキット B剤

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取扱いは、局所排気装置を使用するか、又は、換気の良い場所で行う。

許容濃度

成分名称	安衛法 管理濃度	日本産業衛生学会		ACGIH	
		(ppm)	(mg/m ³)	TWA	STEL
酢酸	未設定	10	未設定	10ppm	15ppm
フェニドン	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器の保護具：	臭気が気になる場合は、酸性ガス用マスク又は活性炭入り簡易防じんマスクを着用する。
手の保護具：	不浸透性保護長手袋等の保護手袋を着用すること（皮膚刺激性があるため）。
目の保護具：	ゴーグルまたは安全メガネ等の保護眼鏡/保護面を着用すること（眼刺激性があるため）。
皮膚及び身体の保護具：	保護前掛け、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：	液体
形状：	溶液
色：	橙黄色
臭い：	酢酸臭
臭いの閾値：	データなし
pH：	<1
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲：	データなし
引火点：	無し
自然発火温度：	データなし
燃焼又は爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
比重：	1.05-1.15
溶解性：	水：易溶
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の手扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性：	情報なし。
避けるべき条件：	情報なし。
混触危険物質：	酸化剤、金属（腐食性あり）
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素

製品安全データシート

整理番号： 2000054075

作成： 2001/11/07

改訂： 2010/12/01

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1スタートキット B剤

1.1. 有害性情報

製品

皮膚腐食性／刺激性： Corrosive [ウサギ]
眼に対する重篤な
損傷性／刺激性： Corrosive [ウサギ]

成分

酢酸

急性毒性（経口）： TDL0: 1470 ug/kg[ヒト], LD50: 3310 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）： LD50: 1060 mg/kg[ウサギ]
急性毒性（吸入）： TCL0: 816 ppm[ヒト], LDLo: 16000 ppm/4H[ラット], LC50:
5620 ppm[マウス]

フェニドン

皮膚腐食性／刺激性： Corrosive [ウサギ]
生殖細胞変異原性（変異原性）： 染色体異常試験:陰性, AMES試験:陰性

急性毒性（経口）： LD50: 200 mg/kg[ラット], LD50: 360 mg/kg[マウス]

1.2. 環境影響情報

製品

データなし

成分

酢酸

生態毒性
急性毒性（魚毒性）： 96hrLC50: 75mg/l[Bluegill]
急性毒性（ミジンコ毒性）： Threshold immobilisation: 47mg/l, 24-72hr Lethal:
125mg/l[Daphnia magna]

フェニドン

残留性／分解性： 良分解性

生態毒性
急性毒性（魚毒性）： 96hrLC50: 1.00mg/l

1.3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を法律に従い廃棄すること。
水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当するので河川、下水等にそのまま排出しない。自社で排水処理を行わない場合は産業廃棄物処理業者に依頼する。原液は特別管理産業廃棄物に該当するので特別管理産業廃棄物処理基準に従う。

1.4. 輸送上の注意

国連分類： クラス8
国連番号： UN2790
品名（国連輸送名）： 酢酸（水溶液）
容器等級： II
国内規制： 海上輸送は危険物船舶運送及び貯蔵規則の規定に従う。
輸送の特定の
安全対策及び条件： “7章 取扱い及び保管上の注意”の記載による。

製品安全データシート

整理番号：2000054075

作成：2001/11/07

改訂：2010/12/01

製品名： X-レイ自動現像機用現像スタートキット TD-1スタートキット B剤

15. 適用法令

消防法：	非該当
毒劇法：	非該当
安衛法：	名称等を通知すべき有害物
化審法：	非該当
PRTR法：	非該当

16. その他の情報

参考文献等： 化審法の既存化学物質 安全性点検データ集（化学品検査協会）
国際化学物質安全性カード 日本語版（化学工業日報社）
環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）
新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）
RTECS (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

免責文： 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。